

交通事故防止のPOINT

R1-5



自転車の交通事故防止～高校生と高齢者の自転車事故～

5月1日から31日は「自転車月間」です。そこで今月は、事故が多発する高校生と、死亡事故が多発する高齢者の自転車事故の状況をお知らせします。

※各表は、過去5年間（R2～R6）に県内で発生した人間交通事故を分析した結果です。

※「自転車月間」は自転車活用推進法により定められています。

死傷者

年齢別では16歳が最も多く、15歳から18歳の事故が多発！！

【年齢別死傷者数】



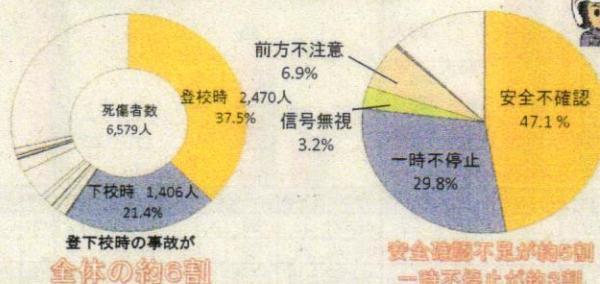
過去5年間の16歳の死傷者数は2,024人

【10歳から19歳死傷者数】



高校生の自転車事故が多発しています。

【事故時の通行目的】 【自転車が原因となる事故の法令違反】
(15歳～18歳) (15歳～18歳)



登下校時の事故が全体の約6割

愛知県警ホームページ掲載の「自転車の通行ルール」を見て自転車の通行方法を学びましょう。



高校生・保護者の方

高校生は多くの学生が通学時に自転車を利用します。交通事故を起こさない、交通事故に遭わないために

- 見通しの悪い交差点では減速して安全確認する。
- 一時停止の標識がある場所では必ず止まる。
- 信号を守る。
- 自転車乗車中に携帯電話を使用しない。
- 時間に余裕を持った行動をとる。

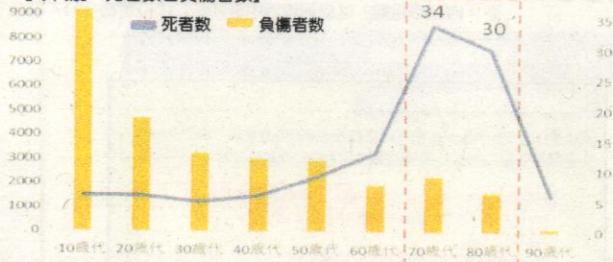
等を実践とともに、交通ルールを守りましょう。

また、交通事故時の被害軽減のために「ヘルメット」を着用しましょう。

死者

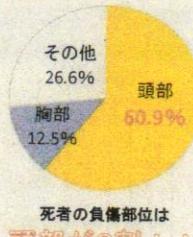
70歳代から80歳代が突出して多い！！

【年代別 死者数と負傷者数】



高齢者の場合は、死亡事故に発展する危険性が高まります。

【死者の負傷部位】 (70歳代・80歳代)



死者の負傷部位は
頭部が6割！！

【ヘルメット着用率】 (70歳代・80歳代)



9割超がヘルメット
非着用！！



高齢者の方へ

- 過去5年間の自転車事故のうち、高齢者の死者数が突出して多くなっています
- 高齢者の死者のうち、9割超の方がヘルメットを着用していました

ドライバーの方へ

- 運転中に、自転車が突然飛び出してくれるかもしれません。危険を予測した「かもしれない運転」をお願いします
- 高齢者の方は、自動車の接近に気が付いていない場合があります。あらかじめ速度を落とし安全な距離を確保する等、思いやりのある運転をお願いします